

# みゆき公園の主な行事

**2月下旬**  
みゆき梅林園

【梅まつり】  
みゆき梅林園には、約400本の梅の木が植えられています。太宰府天満宮からも八重紅梅・一重浮白梅を寄贈してもらっています。



**3月下旬**  
みゆき球技場

【嬉野市サッカーフェスティバル】  
市内小学生を対象としたサッカー大会、親子サッカー、プロサッカーチームのサガン鳥栖によるサッカー教室を開催されています。



**4月下旬**  
みゆき記念広場

【ふじまつり】  
記念広場の藤棚周辺において多彩な催しを開催。ふじの花言葉は観光地嬉野にふさわしく「歓迎」であり、市花に制定されています。



**5月下旬**  
みゆき球場

【春季杵藤地区高等学校野球大会】  
NHK杯の地区予選大会となる杵藤地区9校の熱い戦いが繰り広げられます。



**7月下旬**  
みゆき球場

【日本硬式少年野球連盟ジャパンリーグ嬉野大会】  
青少年の健全育成を目的として毎年開催され、約25チームが参加しています。

**8月11日**  
多目的運動広場

【嬉野温泉夏祭り】  
嬉野町の夜空を彩る2,500発の花火は壮大で、毎年3万人の人出で賑わいます。なかでも西日本最大級の2尺玉の大花火は圧巻です。



**8月15日**  
みゆき相撲場

【嬉野市子供相撲大会】  
市内小学生を対象とした相撲大会。1チーム5名の豆力土がぶつかり合います。

**10月下旬**  
テニスコート

【ニューミックステニス大会】  
毎年多くの車いすテニスプレーヤーと、一般のテニスプレーヤーが一緒になってテニスの試合をし、交流を深めています。



**10月下旬**  
みゆき球場

【嬉野温泉親善少年野球大会】  
嬉野温泉近郊の少年野球チームが参加して行われます。

**11月中旬**  
テニスコート

【嬉野市長杯ジュニアソフトテニス大会】  
県内外から約300名の小・中・高生が参加し、開催されています。

**12月中旬**  
みゆき球技場

【近県少年サッカー交歓会】  
福岡・大分・熊本・長崎・佐賀の5県の小学生4～6年生を対象に約32チームが参加し、ゴールを目指して白熱した戦いが繰り広げられます。



# 緑豊かなオープンスペース みゆき公園

嬉野総合運動公園(みゆき公園)は、昭和57年に、国の事業許可を受け、42.4haの園内に記念公園・多目的運動広場・野球場等の施設を整備してまいりました。  
今回、雨天時や炎天下でも安全・安心に屋外スポーツを楽しめる、全天候型屋内多目的広場「みゆきドーム」が完成しました。  
みゆき公園は、県下有数の都市公園として、市内外より、多くの方にご利用いただいております。「歓声が聞こえる嬉野市」を目指し、緑豊かな安らぎの空間スペースを創りだし、幅広い世代の市民や来訪者との交流と健康維持を図るため、公園緑地に努めています。



## ① 記念広場



みゆき公園記念広場は、昭和天皇の御臨席を仰ぎ、昭和62年5月24日に開催された第38回全国植樹祭の会場となったところです。敷地内には陛下お手植えの森の字を型取り3本の檜が植栽されています。  
以降、記念広場として利用され週末には県内外から多くの家族連れで賑わっています。

## ② 多目的運動広場



多目的運動広場は、野球及びソフトボール2面を使用でき、外野に天然芝を張り、快適なスポーツを楽しんでいただけるように配慮しています。更にサッカー及びラグビーが1面と400mトラックを兼ねた多目的に利用できる運動広場として盛んに利用されています。

## ③ みゆき相撲場



みゆき相撲場は、昭和62年度に、鉄骨造鋼板屋根(64㎡)にて整備しました。現在は、嬉野市相撲連盟が、定期的に大会や練習を行っています。

## ④ みゆき記念館



みゆき公園を管理する「みゆき記念館」は、昭和61年度に管理棟(木造瓦葺き平屋建)及び松風庵(茶室)が完成しました。管理棟は、事務室の他10畳2間の会議室及びロビーがあり、会議等に利用されています。また、水琴窟を備えた茶室の松風庵は、静寂した和風庭園に囲まれ、ここでの茶の一杯は心身を安らかにさせ、市内外の茶道家から広くご利用されています。

## ⑤ みゆき梅林園



みゆき梅林園は、野球場の南側に約400本の梅が植栽されています。梅の木は、嬉野市内の方々をはじめ、平成元年2月10日、福岡県太宰府天満宮より八重紅梅・一重浮白梅の寄贈をいただいております。園内には、休憩所も設置され、ゆったりと園内が散策でき、また、梅林下方には、岩峰池が広がり梅と水のコントラストが、お出でいただいた方をお迎えしています。

## ⑥ みゆき球場



平成4年度にオープンした、みゆき球場は収容人員1万5千人、両翼100m、バックスクリーンまで125mの規模を誇り自然環境に恵まれた九州有数の野球場として多くの方々から利用されています。  
スコアボードは、電光掲示板での整備をしています。

## ⑦ みゆき球技場



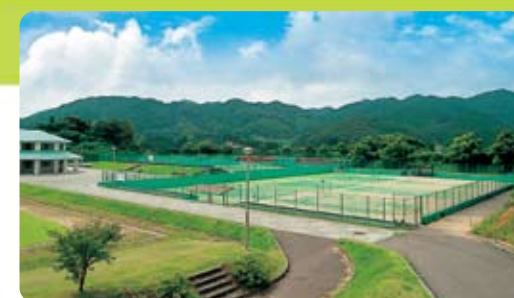
みゆき球技場は、平成13年4月にオープンしました。収容人数5千人・コート面積1.08ha(120m×90m)の天然芝の球技場で、サッカーやラグビーなどに利用されています。

## ⑧ みゆきクラブハウス



嬉野総合運動公園の西側に位置するテニスコートや、球技場を管理するための施設として平成16年12月に完成しました。  
更衣室やトイレ、ミーティングルーム、レクチャールームなどを設け各種大会にも対応できるつくりとなっております。

## ⑨ みゆきテニスコート



みゆきテニスコートは、平成15年3月に人工芝テニスコート8面が完成いたしました。  
平成19年には、全国高校総体が開催されるなど各種大会で多くの利用がされています。

## ⑩ みゆきグラウンド・ゴルフ場



6,000㎡敷地にインコース(240m)・アウトコース(240m)の2コースを備えた、グラウンド・ゴルフ専用として平成15年10月にオープンしました。  
天然芝のコースは、幅広い世代の市民や来訪者の交流の場として広く親しまれています。  
また、県内で2番目の認定コースにも指定されています。

## “嬉野温泉”～日本三大美肌の湯

嬉野温泉は、美肌に効果があるといわれています無色透明の「重曹泉」です。ナトリウムを多く含む泉質は、角質化した皮膚を滑らかにし、みずみずしい肌を蘇らせます。また、飲めば胃腸や肝臓等の機能を活性化させる飲用効果があります。  
平成22年には、嬉野のシンボル、公衆浴場「シーボルトの湯」が完成しました。

## “うれしの茶”～日本一の玉緑茶の里

うれしの茶の歴史は、1440年(永享12年)までに遡ります。長崎県平戸に渡来した中国の明の陶工が、嬉野町不動山皿屋谷に住み着き陶器を焼く傍ら自家用に「茶」を栽培したのが始まりだといわれています。  
現在、嬉野市は全国の玉緑茶生産量では日本一を誇り、全国茶品評会において農林水産大臣賞などを連続受賞し、ブランド確立に努め、国内有数の産地として発展を続けています。